

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公表番号】特表2003-502475(P2003-502475A)

【公表日】平成15年1月21日(2003.1.21)

【出願番号】特願2001-503960(P2001-503960)

【国際特許分類】

C 09 J 153/02	(2006.01)
C 09 J 7/02	(2006.01)
C 09 J 123/20	(2006.01)
C 09 J 157/02	(2006.01)

【F I】

C 09 J 153/02	
C 09 J 7/02	Z
C 09 J 123/20	
C 09 J 157/02	

【手続補正書】

【提出日】平成19年2月26日(2007.2.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】接着剤組成物であって、

(i)少なくとも2つのポリ(モノビニル芳香族炭化水素)ブロックおよび少なくとも1つの水素化されたポリ(共役ジエン)ブロックを含有するブロック共重合体と、

(ii)ブロック共重合体100重量部当り、20から80重量部の少なくとも部分的に水素化された粘着付与樹脂と、

(iii)ブロック共重合体100重量部当り、0から40重量部の芳香族樹脂と、

(iv)ブロック共重合体100重量部当り、10から60重量部のポリブテン-1(ここで、ポリブテン-1は60,000~1,000,000の範囲の重量平均分子量を有し、およびポリブテン-1は非ブテンコモノマ-含量が1~50モル%の範囲にあるポリブテン-1共重合体である)と、

(v)ブロック共重合体100重量部当り、0から25重量部の可塑剤とを含む組成物。

【請求項2】接着剤組成物を含有するペレットを調製する方法であって、

(i)少なくとも2つのポリ(モノビニル芳香族炭化水素)ブロックおよび少なくとも1つの水素化されたポリ(共役ジエン)ブロックを含有するブロック共重合体、またはこのブロック共重合体のブレンドを、ブロック共重合体100重量部当り、最高25重量部までの可塑剤、ブロック共重合体100重量部当り、20から80重量部の少なくとも部分的に水素化された粘着付与樹脂、ブロック共重合体100重量部当り、10から60重量部のポリブテン-1(ここで、ポリブテン-1は60,000~1,000,000の範囲の重量平均分子量を有し、およびポリブテン-1は非ブテンコモノマ-含量が1~50モル%の範囲にあるポリブテン-1共重合体である)、および任意選択で、ブロック共重合体100重量部当り、最高40重量部までの芳香族樹脂とともに、押出機の別々の供給入口開口部に添加すること、または前記成分のブレンドを押出機に添加することと、

(ii)押出機中で成分をブレンドし、かつ押出して、押し出し物を得ることと、

(i i i) 押出し物を水中造粒機で造粒して湿ったペレットを得ることと、
(i v) 湿ったペレットを乾燥して接着剤組成物を含有するペレットを得ること、および任意選択で、湿ったペレットまたは乾燥したペレットを、全接着剤組成物の 0 . 0 5 から 1 0 重量 % の量の打ち粉で処理することと
を含む方法。

【請求項 3】 接着剤層および基材層を備える保護フィルムであって、接着剤層が、

(i) 少なくとも 2 つのポリ (モノビニル芳香族炭化水素) ブロックおよび少なくとも 1 つの水素化されたポリ (共役ジエン) ブロックを含有するブロック共重合体と、

(i i) ブロック共重合体 1 0 0 重量部当り、 2 0 から 8 0 重量部の少なくとも部分的に水素化された粘着付与樹脂と、

(i i i) ブロック共重合体 1 0 0 重量部当り、 0 から 4 0 重量部の芳香族樹脂と、

(i v) ブロック共重合体 1 0 0 重量部当り、 1 0 から 6 0 重量部のポリブテン - 1 (ここで、ポリブテン - 1 は 6 0 , 0 0 0 ~ 1 , 0 0 0 , 0 0 0 の範囲の重量平均分子量を有し、およびポリブテン - 1 は非ブテンコモノマ - 含量が 1 ~ 5 0 モル % の範囲にあるポリブテン - 1 共重合体である) と、

(v) ブロック共重合体 1 0 0 重量部当り、 0 から 2 5 重量部の可塑剤と
を含む保護フィルム。

【請求項 4】 押出し可能な基材層および請求項 3 に記載の接着剤層を同時押出しすることにより保護フィルムを調製する方法であって、その方法が、接着剤層を形成する接着剤組成物を第 1 の押出機に供給し、かつ基材層を形成する基材組成物を第 2 の押出機に供給することと、接着剤組成物および基材組成物を溶融し、かつそれぞれ第 1 および第 2 の押出機で実質的に溶融した接着剤組成物および基材組成物を同時に、第 1 および第 2 の押出機に油圧的に連絡しているダイまで輸送することと、接着剤層および基材層を備えるフィルムを同時押出しすることとを含む方法。

【請求項 5】 請求項 4 に記載の保護フィルムを含む物品。